指定管理者モニタリング調査表

施設名	指定管理者名	所管課	調査日
口坂本温泉浴場 湯ノ島温泉浴場 清水西里温泉浴場	株式会社ユアーズ静岡	中山間地振興課	令和7年6月13日から 令和7年8月18日まで

【モニタリング項目】

項目	No.	調査内容	調査結果(可否:○問題ない △一部に問題がある ×問題がある)	
			可否	改善事項
人員配置 状況	1	労働関係法令が遵守されているか。 (以下の「労働関係法令遵守に係る確認事項」を参考に確認)	△	<p>【湯ノ島】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の就業規則が未配架であったため、速やかに配架されたい。 <p>【口坂本・清水西里】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出勤確認票が鉛筆書きであったため、厚生労働省のガイドライン等を参考に改善されたい。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業規則において「資格手当の支払基準および金額に関しては、別に定める」としているが一覧等の規定が存在していなかった。法令上、望ましくない状況と評価される可能性が否定できないことから、専門機関等に確認及び相談の上、必要に応じて是正を図られたい。 雇用契約書の日付が未記入であったり、雇用開始後の日付が記入されていたことから、労働条件通知の適正化を図る観点から、雇用開始前に正しく日付を記入のうえ雇用契約書の作成をされたい。 労働関係法令の遵守は事業者として当然に求められる責務であることから、改めて全般的に雇用管理体制を点検し、必要に応じて改善を図られたい。
	2	職員の人員が適正に配置されているか。	△	<p>【清水西里】</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターの高齢者一人のみで、休館日に8つの浴槽清掃をしていたため、専門的な衛生管理及び労働者の安全を担保できる体制で実施されたい。
	3	資格の必要な職員が適正に配置されているか。	×	<p>【口坂本】</p>

				<ul style="list-style-type: none"> ・約4か月間防火管理者未配置であった。(令和7年8月以降配置済) 【清水西里】 <ul style="list-style-type: none"> ・約6か月間ボイラー技士2級・乙種4類危険物取扱者未配置であった。(令和7年7月以降配置済)
業務実施 状況	4	仕様書や事業計画どおりの業務が実施されているか。	△	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月頃から5温泉共通タオルの企画が進んでいなかったことから、仕様書及び事業計画書に基づいて確実な実施をされたい。
	5	施設利用者、近隣住民と良好な関係を構築しているか。	○	
	6	市民の苦情、要望等に対して、迅速かつ適正に処理しているか。	○	
	7	利用者にアンケート調査を実施し、結果を管理運営に生かしているか。	○	
	8	施設利用に係る審査基準、処分基準を作成し、適切に運用しているか。	○	
	9	施設等の点検(法定点検及び通常の点検)、保守管理(清掃・警備・草刈り等)が確実に実行されているか。	△	【清水西里】 <ul style="list-style-type: none"> ・日常管理における浴槽清掃の不備が見受けられた。(詳細は項目 No.2,19 のとおり)
	10	備品管理簿に基づき、備品を適切に管理しているか。	○	
	11	業務において作成した文書を適切に管理保存しているか。 (業務日誌、各種様式・マニュアル修繕、事故、苦情、業務計画書・業務報告書・予算収支書等)	△	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支状況報告書の根拠となる原本資料が一部不明であった。(詳細は項目 No.13 のとおり)
会計	12	現金や金券等の管理を適正に行っているか。	○	
	13	専用の帳簿等を備え、適正に経理事務を行っているか。	×	【共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費及び第三者委託費について、過去3か年・3施設の年度報告書・収支状況報告書と実際の挙証資料(原本)を比較したところ、修繕費全体で約 23 万円・第三者委託費全体で約 151 万円の差異があり、整合性が取れない状況であった。 ・過年度の挙証資料(原本)については当時の担当者が退職したことから不明との説明があり、協定書の「帳簿保存義務(10 年間)」の規定に違反していると考える。 ・令和7年度に実施した修繕費を令和6年度に計上していたほか、コピー代(使用料)を修繕費として、草刈刃(消耗品費)等の経費を外

				<p>注費(第三者委託費)として計上しており、経理項目の内訳が一部不適切であった。</p> <p>・市民への説明責任を果たす観点から、令和7年度以降は企業全体の会計処理と区別して、各施設ごとの経理を明確に整理して年度報告書・収支状況報告書を作成し、支払証拠書類等との整合性が取れるようにしておくこと。</p>
危機管理	14	施設や設備、備品に不具合はないか。	○	
	15	緊急時のマニュアルを作成し、職員への指導を行っているか。	○	
	16	防火管理業務は、適正に行っており、職員全員が理解しているか。	△	<p>【口坂本】</p> <p>・約4か月間防火管理者の配置がなかった。(令和7年8月以降配置済)</p>
	17	緊急事態発生の場合は、遅滞なく措置を講じ市や関係機関に連絡できる体制がとられているか。	○	
	18	施設内の事故、盗難、破壊等の犯罪行為や災害を防止するための、保安警備に努めているか。	○	
その他	19	(入浴施設のみ)静岡市公衆浴場法条例ほか関係法令に基づいて適切な衛生管理を行っているか。	△	<p>【清水西里】</p> <p>・週1回の高濃度塩素による配管消毒について、循環開始 120 分後の遊離残留塩素濃度が 10mg/L を下回る場合があったため、配管消毒時は常に遊離残留塩素濃度 10mg/L を保つようにすること。</p> <p>※レジオネラ属菌の検出時に保健所から指摘されている。</p>
<p>【特記事項】</p>				